

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●安田記念ではサトノアラジンがG I 初制覇

6月4日(日)におこなわれた安田記念(G I)ではサトノアラジン(牡6歳／栗東・池江泰寿厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。

●藤田菜七子騎手が国際女性騎手招待競走で3着

6月6日(火)、スウェーデン・ストックホルムのヤーデット競馬場でおこなわれた国際女性騎手招待競走「ファティマ・ビント・ムバラク妃殿下主催ワールドレディースチャンピオンシップ」第8戦において、藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)は7頭立ての3着でした。

●野中悠太郎騎手がフランス若手騎手招待レースに参加

6月17日(土)、フランスのシャンティイ競馬場でおこなわれる「ロンジン・フェューチャー・レーシング・スター賞(若手騎手招待レース)」に、野中悠太郎騎手(美浦・根本康広厩舎)がJRA代表として参加することとなりました。同レースには、イギリス、アイルランド、ドイツ、フランス、オーストラリア、南アフリカ、アメリカ合衆国、トルコ、モロッコ、日本の計10か国から14名の騎手が参加予定です。

●重賞ウイナー3頭の競走馬登録抹消

2016年目黒記念(G II)の勝ち馬クリプトグラム(牡5歳／栗東・藤原英昭厩舎／JRA通算10戦5勝)、2013年目黒記念(G II)の勝ち馬ムスカテール(牡9歳／栗東・友道康夫厩舎／JRA通算35戦7勝・地方4戦0勝)、2015年読売マイラーズC(G II)などの勝ち馬レッドアリオン(駄7歳／美浦・奥村武厩舎／JRA通算40戦7勝)は、6月8日(木)までに競走馬登録を抹消されました。クリプトグラムは東京競馬場、ムスカテールはJRA馬事公苑、レッドアリオンは岡山県吉備中央町の岡山乗馬俱楽部で、いずれも乗馬となる予定です。

●アドマイヤコジーンが死亡

6月6日(火)、アドマイヤコジーン(牡21歳)が繫養先である北海道日高町のクラウン日高牧場で大動脈破裂のため死亡しました。同馬は1998年朝日杯3歳S(G I)、2002年安田記念(G I)を制するなどJRA通算22戦6勝・海外1戦0勝の成績を残して引退、種牡馬入り。産駒には、いずれもスプリンターズS(G I)を勝ったアストンマーチャンやスノードラゴンなどがいます。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ニシケンモノノフが北海道スプリントC(門別)をレコード勝ち

北海道スプリントC(JpnIII、6月8日、門別、1200m)は、逃げたニシケンモノノフ(横山典弘騎手、牡6歳、父メイショウボーラー)が後続を4馬身引き離し、単勝1.9倍の支持に応えました。2番人気のショコラプランが2着、3番人気のスノードラゴンが3着、ゴーイングパワーが4着と、JRA勢が上位を独占しました。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド名古屋の結果

ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド名古屋は6月8日に実施され、第1戦が加藤聰一騎手(愛知)、第2戦は松木大地騎手(高知)が勝利を収めています。

●ソウル遠征の大井所属馬はパーティードレスの8着が最高

SBSスポーツスプリント(韓国ローカルG III、3歳以上、6月4日、ソウル、1200m)は、4番人気の韓国馬トラオンポギョンソン(釜山)が差し切って優勝。大井の2頭は、1番人気に推されたパーティードレスが中団のまま8着、キモニアヴァロンは12着でした。

●クイーンマンボらが参戦、6月14日の関東オーケス(川崎)

関東オーケス(JpnII、3歳牝馬、川崎、2100m)は、兵庫チャンピオンシップ3着のクイーンマンボが筆頭格、以下サクレエクスプレス、アンジュデジール、アポロユッキー、アップトゥユー(川崎)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1英ダービー～人気薄ウイングスオブイーグルスが制す

G 1 英ダービー(芝12f⁶f)が6月3日にエプソム競馬場で行われ、後方3番手で直線に向いたウイングスオブイーグルス(牡3歳、父ブールモワ)が馬群を縫うようにして伸びて優勝。16番人気(単勝41倍)の伏兵が栄冠を手にしました。ウイングスオブイーグルスは昨年8月にデビュー2戦目で初勝利。しかしその後は前走のG 3 チェスターVアーズS(2着)まで3連敗を喫していました。これが今年イギリスでは2レース目(本拠地アイルランドを含めても9レース目)の騎乗だったP.ベギー騎手は英ダービー初挑戦で初制覇。A.オブライエン調教師は6勝目です。

●G 1仏ダービー～プラムトが仏二冠を達成

6月4日にシャンティイ競馬場で行われたG 1 ジョッキークラブ賞(仏ダービー、芝2100m)は単勝2.7倍の1番人気に推されたプラムト(牡3歳、父ラジサマン)が追い込みを決めて優勝。前走5月14日のG 1 仏2000ギニーに続くG 1 連勝としました。仏2000ギニーと仏ダービーの仏二冠制覇は、2005年に仏ダービーの距離が2400mから2100mに短縮されて以降では2005年のシャマーダル、2010年のロペデヴェガに続く3頭目の快挙。C.デムーロ騎手はこのレース初勝利、J.C.ルジェ調教師は3勝目となりました。